

通所ケア実践ラボ(Lab.) -知恵と工夫のケアを共有し、多職種で学ぶ-

第9回 通所サービス事業所意見交換会のご案内

そのケア、なぜうまくいったのか？現場の“工夫”を、地域の“知識”へ

これまでの意見交換会は「困りごとをどう解決するか」が中心でした。しかし現場には、すでにうまくいっている工夫や知恵が数多くあります。今回の意見交換会では、その実践を持ち寄り、意味を読み解き、誰もが使えるケアの知識として共有する場をつくります。単なる情報交換の場に留まらず、ケアの実践知を持ち寄り、専門知で意味づけし、地域（通所サービス職員や介護支援専門員）で共有・蓄積する「知識生産の場」とします。是非お申込みください。



日時：令和8年7月16日(木) 18:00～19:30

場所：北見市役所 5階 505 会議室

対象：通所介護、通所リハビリ、小規模型居宅介護のスタッフ、居宅介護支援事業所や介護予防に携わるケアマネジャー、その他

内容：意見交換会(90分)

テーマ：通所ケア実践ラボ うまくいった工夫を持ち寄りケアの意味を読み解く

① **実践の共有（意見交換）** 40分

参加者それぞれが、現場での「うまくいった工夫」「関わりのコツ」を持ち寄り共有します。

例：来所や活動を拒否する利用者の関わり、帰宅願望の対応

② **ミニ講座（専門職よりコメント）** 20分

共有された実践を、各専門職が医学的な意味合いを討議します。

③ **明日から使えるケアへ（再度検討）** 20分

学びを踏まえて、自分の事業所で実践できる形に整理します。「自分ならどう活かすか」、「現場でできる一工夫」など

第9回意見交換会の特徴

- 「困りごと」ではなく“うまくいった実践”から学びます。
- 多職種でケアの意味を言語化し、事業所を超えて**実践知を共有・蓄積**しましょう。

例えば…

来たくない利用者	現場の工夫	変化	分析
「デイサービスなんて行きたくない」と毎回拒否→送迎しても帰ろうとする	役割を設定（お茶出し・新聞配り）、到着直後にやることを用意、職員ではなく他利用者との関係づくり	「今日は行かないの？」と自分から言うように	行動の背景には「役割喪失」と「居場所のなさ」があった

主催

北見市
北見市医療・介護連携支援センター
通所サービス意見交換会幹事会

参加方法・申込み

今回はプログラム上、会場参加のみです。申し込みは以下の URL をクリックするか QR コードを読み取りお申込み下さい。なお、お申込みの際に事前アンケートにご協力をお願いします。

締切：令和8年7月13日(金)

終了後「懇親会」を開催します！是非参加ください。(事前申し込み必要)

申し込み URL

<https://forms.gle/jchXkddEXWrj427e7>

二次元バーコード



お問い合わせ

北見市医療・介護連携支援センター
北見市中央三輪2丁目302-1
北星記念病院内
電話(0157)51-1244
メール

kitami.medicare@nouge.gr.jp